

(自宅)〒520-0106 滋賀県大津市唐崎1-25-17-601 TEL/FAX:077-578-8913 e-mail mail@narinari.net URL http://www.narinari.net/

2009年度予算を審議した2月定例会が終了いたしました。

財政構造改革プログラムの更なる見直しの2年目の年、加えて、昨年からの経済不況のおおりの受け、法人2税の減額など、滋賀県の財政がさらに厳しさを増しております。そんな中、一般会計当初予算の総額は、約84億円、1.7%の減となる4,851億8千万円となりました。一方で緊急雇用対策として、82億を超える規模の基金が造成されました。

滋賀県議会議員として2年目、折り返しの年となりました。引き続き、「教育」「環境」「防災」の課題に立ち向かい、笑顔あふれる、魅力ある滋賀を目指して、皆様の声を県政に届けるべく努力いたします。



### 2月定例会 予算特別委員会

## 子ども・青少年施策について

**成田**／青少年が本来持っている素材に磨きをかけ、その持つ力を最大限に引き出す、いわば若者の潜在力を顕在化し、将来の成長力を底上げしていく必要があるといえるが、平成21年度、青少年の育成のために、約1億1千万円の予算措置を行っているが、どのような取り組みを行っているのか？

**子ども青少年局長**／青少年の社会性や自立性を育むことに力点を置き、体験活動の場を提供する「しがこども体験学校」や非行などの問題を抱える青少年たちの立ち直りを支援する「青少年立ち直り支援センター(あすくる)」などにより、効果的な青少年の健全育成に努めていく。

**成田**／「新・アクションプラン」「子どもの世紀 しがプラン」統合計画により、子どもから青少年まで、切れ目なく横断的に施策を実行していく観点から、新たな計画を策定するが、二つのプランを統合する意義は？また青少年育成の色合いは薄まらないか？

**健康福祉部長**／子どもの成長段階に応じ、保健、福祉、教育、労働など関連施策を結合し、連続性のある効果的な支援を行う体系的なプラン、次世代支援の一体的な計画とすることが一つの意義。また子どもが生まれる段階から社会の担い手になるまで切れ目のない支援を行っていく指針となるものと考えている。統合計画の策定により、より連続性の中での青少年の育成を目指し、より充実した取り組みにしていく。

**成田**／新たな計画において、子どもの立場で想いを組み込むことができると考えるが、子ども参画の可能性は？  
**成田**／今年5月以降開催する子どもワーク会議においても、子どもたちの相互の意見をそれぞれ深めて、県としても採用できるものは具体的に採用していきたい。

**成田**／場の提供は青年の問題意識を高め、青年の能力を引き出す結果につながると考えるが、挑戦でもあり、経験の糧にもなる青年による参画は？

**成田**／策定協議会の委員を公募し、そこで委員として参加して頂き、テーマ別の意見交換会など予定している。大学、青年関係団体等を通じて、意欲ある青年の参加を募る。豊かであるが故に未来に夢が描きにくい今、現在の青年が抱えている課題、滋賀の地域の現状、今後の在り方等について、問題意識を発掘、意見を頂き、具体的な政策に活かせるものは活かしたい。

## 21世紀淡海子ども未来会議

子どもたちが、滋賀県の環境や福祉、まちづくりなどをテーマに、自ら感じ、考え、話し合ってきました。今年で10年を迎えますが、子ども県議会において、知事や部長に意見表明を行っている姿を見ると子どもたちの無限の可能性を感じます。次代を担う子どもたちの育成と子どもが参画する社会づくりにつながる事業です。



大津絵の体験

## プロフェッショナルとの交流会

消防士や弁護士など多彩な職種のプロフェッショナルと若者が、人生や仕事、進路など様々な話題についてじっくり語り合える交流会です。経験豊富な社会の先輩とふれ合い、刺激を得ることにより、若者はさらなる可能性を発見し、未来の自分を創造したのではないのでしょうか。



私も議員として参加

## 議員インターンシップ

政治離れが危惧されている若者が実際に議員と行動することにより、メディアでは伝えられない「ホンモノ」の政治を見ることが出来ます。議員の様々な活動を通して、視野が広まり、社会への認識も深まり、また政治に対する興味も高まるインターン活動です。今回も3人の学生が参加しました。



議会の傍聴を積極参加

## 沖縄県立中部病院

沖縄県立中部病院では、救急医療を中心に大きな成果を残しており、またハワイ大学と連携してER方式の附設型救急救命センターとして運営されています。背景としては、戦争による物的・人的損失の歴史、また離島であり、広範囲に散在する島嶼群であることから、最低限の医療の確保を望む住民のニーズにより、救急医療が発展しました。

この病院では、救急専属医を準夜、夜間それぞれ4名ずつ配置するなどし、24時間、医療水準を確保し、1～3次までの救急患者を受け入れ、公的病院を最後の砦として、位置づけております。また研修制度も充実しており、全国各地50の医大から研修医が集まてきます。実際にある医師は1年間に1,407名の患者を診察するなど、救急の現場が教育の場となっています。

民間の医療機関も救急に参加し、「沖縄で患者のたらい回しはない」と、また中部病院では「すべての県民がいつでも、どこでも、安心して、満足できる医療を提供」を理念と使命とされており、県立病院の在り方を学ばせて頂きました。滋賀においても民間や市町の公立病院と違った県立病院のニーズを精査し、滋賀県の最後の砦となる病院の位置づけとなるよう議論していきたいと思っております。

## あわせびがた 泡瀬干潟(沖縄市)

泡瀬干潟は日本の代表的なサンゴ礁干潟であり、渡り鳥の休息地、多くの新種・希少種の鳥が発見されている多様な生物が暮らす海の草原です。

しかし、国、沖縄県では約2,000億を超える巨額の投資により、埋立、リゾート開発を行っております。現在全体265haのうち187haが埋め立て予定で工事進行中ですが、埋立計画は「経済的合理性がない」と、那覇地裁による沖縄市と沖縄県に「公金差し止め」を命じる判決が2008年11月19日にありました。沖縄市長、沖縄県知事は控訴していますが、裁判中にも関わらず、その控訴を理由に国は埋立を強行しております。

そもそも、今の時代に大型公共事業によるリゾート開発が必要なのか、そして、視察の際にも大量の土砂が運び込まれておりましたが、きれいな海を人間の手によって、人工海浜やマリナーに変える必要があるのでしょうか。

今回は埋立の前提であった大型海藻移植による保全も不可能となり、沖縄の魅力である自然を破壊してまで、一体何のため工事を行うか、疑問に感じました。自然は一度壊すと元に戻すことには何倍もの時間と労力が必要です。大型公共事業の在り方を今一度考えなさいといけなと感じました。



## 成田セイリュウ活動アルバム



大津市消防出初式



常任委員会視察 園城寺



常任委員会視察 県警新庁舎



市民ヨシ刈り



大津子ども環境探偵団水鳥観察



bjリーグ滋賀レイクスターズ応援



唐崎学区体振生涯スポーツ事業スナッグゴルフ

## 成田セイリュウから 皆様へのお願い

- 滋賀県・大津市に関するご質問、ご意見をお寄せください！
- 活動や報告についてのご意見、ご感想をお待ちしております。
- 成田セイリュウ後援会に入会いただくと、定期的に県議会活動レポートを送付いたします。ぜひともご参加ください。
- ボランティアスタッフを募集しております。



唐崎中、膳所高、龍谷大学法学部政治学科 卒業  
同志社大学大学院総合政策科学研究科 修士  
民主党滋賀県総支部連合会 幹事  
滋賀県議会議員 (大津市選挙区) 1期

大津市消防団唐崎分団団員  
唐崎学区体育振興会 常任理事  
唐崎学区スポーツ少年団 事務局  
大津子ども環境探偵団エコーリーダー 幹事

社団法人大津青年会議所 総務委員長  
滋賀県トランポリン協会 会長  
スペシャルオリンピックス日本  
滋賀設立準備委員会 事務局

